

東北部会 第56回学術大会 報告 (第8回東北放射線医療技術学術大会)

実行委員長 村中 健太

平成30年11月3日、4日の2日間、永峰 正幸 大会長(元岩手医科大学附属病院)の指揮のもと、盛岡市(いわて県民情報交流センター アイーナ)において第56回学術大会(第8回東北放射線医療技術学術大会)を開催いたしました。

この合同学術大会は、平成23年にここ盛岡市アイーナで初めて開催されました。当時、東日本大震災復興の最中、大会が無事に開催できるか不安の中での出発でした。今回は東北を一巡して、新たなステージへとつなげる思いを込め、「未来へつなぐ医療への架け橋」の大会テーマのもと、チーム医療の一員として放射線技術が診療に貢献できることを考える事としました。

108演題の一般演題発表の他、特別講演、や市民公開講座など10の企画もって行われた本大会には、565名のもの会員が参加してくださいました。また、230名あまりの会員・関係者が情報交換会に集いました。1ヶ月ほど前に開催された第46回日本放射線技術学会秋季学術大会と期日が近いこともあり、演題応募数減少が危惧される中での開催でしたが、多数の演題と参加者をいただき、盛会裏に本学術大会を終了することができましたことを実行委員一同、心より御礼申し上げます。

大会要項

会期・会場：平成30年11月3日(土)～4日(日) いわて県民情報交流センター アイーナ(7F～8F)

テーマ：「未来へつなぐ医療への架け橋」～放射線技術が診療に貢献できること～

参加数：565名 会員:269名 情報交換会:236名

内容：① 一般演題発表108演題 セッション数24(応募110演題、取り下げ2演題)

内訳：青森県 10題 秋田県 16題 岩手県 19題 山形県 10題
宮城県 22題 福島県 28題 新潟県 3題

- ② 特別講演 1題
- ③ 市民公開講座 1題
- ④ シンポジウム 1題
- ⑤ テクニカルミーティング 6テーマ
- ⑥ ソリューションカンファレンス 5テーマ
- ⑦ みちのくこまち企画 2題
- ⑧ ハンズオンセミナー 1題
- ⑨ ランチョンセミナー 6題
- ⑩ 機器展示 14社

開催協力：展示協賛14社 広告協賛28社 ハンズオンセミナー協力5社
(公財)盛岡観光コンベンション協会

広報協力：日本放射線技術学会各部会 日本放射線技師会各県技師会
(公財)盛岡観光コンベンション協会